

半径5km圏内(PAZ)の避難訓練



要支援者(社会福祉施設,在宅)の避難

九州電力の福祉車両や、自衛隊救急車などを使用し、要支援者を避難所へ搬送する訓練を行いました。

一般住民の避難



バス避難集合場所へ集まり、バスや自家用車(レンタカー)などに乗り合わせて避難所へ向かう訓練を行いました。

各避難所へ到着

半径5~30km圏内(UPZ)の避難訓練

屋内退避(家屋倒壊などにより、家屋での屋内退避が困難となった場合は、近隣の避難所などへ移動し、屋内退避)

緊急時モニタリングで空間放射線量が基準値(毎時20マイクロシーベルト)を超えた地域を確認

住民、要支援者の一時移転(今回の訓練想定では、1週間程度かけて避難)

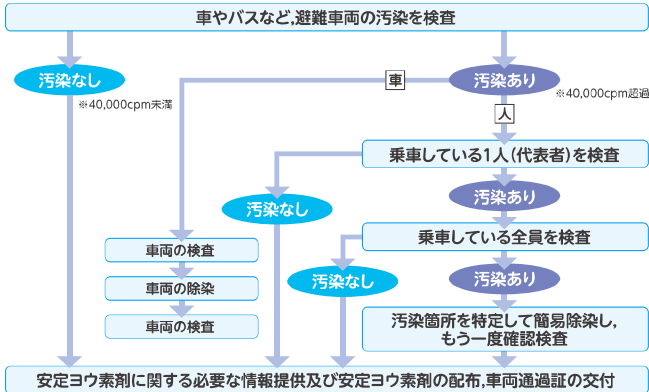
避難退域時検査 避難所へ向かう途中で汚染の有無を確認し、必要な措置を行う。



汚染が確認された車両を、除染する訓練を行いました。



乗車していた人の汚染検査や、除染などの訓練が行われました。



各避難所へ到着

避難所では…

各避難所へ到着した住民の方々は原子力災害の備えに関するDVDを見たり、非常食の運搬訓練にご参加いただきました。

